



F★グループ ジョイント リサイタル

*group  
joint recital*

2002. 9. 23 (祝) 2:00 p.m. フェリスホール

主催 フェリス女学院大学音楽学部同窓会

後援 フェリス女学院大学音楽学部

Fグループ主催のジョイントリサイタルは近年ずい分と活況をしめす様になりました。これは勿論Fグループのスタッフの方々の努力によるものではありませんが、それと共に演奏の質も高いレベルを維持していることにもよるでしょう。今回のプログラムも、それぞれの卒業期に評判となった卒業生たちの演奏に、桑原妙子先生ご指導による卒業生達のコーラスが花を添えてくださり、最後に齊藤京子さんの演奏という豪華版です。齊藤さんはフェリスが生んだ世界的なソプラノ歌手です。ニューヨーク、パリ、ベルリン、ミラノ等12ヶ国以上で活躍し、ニューヨークに住んでおられましたが、本年度よりフェリスの音楽学部の助教授として無理矢理お願いすることになりました。卒業生の中からこの様な人材を迎えられたことに私は感慨無量です。

音楽学部長 渡 邊 明

本日はお忙しい中、Fグループコンサートにお越し下さいましてありがとうございました。

今年はフェリス女学院音楽科同窓会（Fグループ）が発足して30周年を迎えます。初代会長、大島久子さん（1回生）が言われた「同窓会を単に親睦会にとどめるだけでなく学ぶ集いにもしたい」の思いは30年たった今も、ジョイントコンサート、研修会、ティータイムコンサートとして確実に守られています。音楽を勉強してきた我々にとって学ぶことに終わりはありません。今日演奏する方々も皆様に聴いていただくために日々努力をしてまいりました。その成果をどうぞお楽しみ下さいませ。

Fグループ会長 中 田 幸 子

# プログラム

ソプラノ独唱 海野美栄 (44回生) ピアノ 杵渕宏美 (49回生)

W. A. モーツァルト：魔術師

夕べの想い

オペラ「牧場の王」より “彼女を愛そう”

B. スメタナ：オペラ「売られた花嫁」より

“とうとう1人になってしまった”

ピアノ独奏 渡邊ゆうび (51回生)

J. シベリウス：ロマンス 作品24-9

ワルツ 作品34-1

即興曲 作品5-5

カプリス 作品24-3

ピアノ独奏 安西梓乃 (50回生)

R. シューマン：アラベスク 作品18

F. ショパン：バラード第4番 へ短調 作品52

合唱 TOKYO CHAMBER CHOIR

指揮 桑原妙子 (10回生) ピアノ 堀内陽子 (31回生)

カミレリ：レクイエム

千原英喜：だんじゅかりゆしや (五つの琉球古謡より)

I. 登野城<sup>とぬくし</sup>ぬ東座<sup>あがろうぎ</sup>

II. だんじゅかりゆし

III. うりじんクエーナ

中 田 喜 直：女声合唱曲集より

美しい季節

忘れなぐさ

青空の小径

雨の日

ピアノ独奏 尾 和 晶 子 (45回生)

アルベニス：イベリア組曲から

エボカシオン

トリアーナ

ナバーラ

ソプラノ独唱 齊 藤 京 子 (34回生) ピアノ 野 村 朋 子 (48回生)

ドビュッシー：「忘れられし小唄」より

そはやるせなき

都に雨の降るごとく

木々の影

木馬

緑

憂鬱

中 田 喜 直：未知の扉

歌をください

サルビア

おやすみなさい



海野美栄 杵渕宏美

### 海野 美栄 (44回生)

フェリス女学院大学音楽学部、同大学院音楽研究科修了。学部卒業時に三宅賞受賞。二期会オペラスタジオマスタークラス修了。読売新人演奏会、横浜市新人演奏会、大倉山水曜コンサート等に出演。大学院在学中、学内特別演奏会にて神奈川フィルハーモニー管弦楽団（指揮：現田茂夫）と共演。二期会公演ブリテン「真夏の夜の夢」（豆の花）に出演。現在、二期会準会員。芳野靖夫、鹿島恵子の両氏に師事。

『この度、母校において演奏させていただける機会を戴き、心より感謝致します。フェリスを離れて2年、何故歌っているのか、何をどう歌いたいのか自問の日々です。まだまだ遠い道のりですが、だ〜い好きな歌を歌っていただけることに感謝しながら歩みを続け、お客様にも自分自身にも正直な歌い手になりたいと思っています。』

### 杵渕 宏美 (49回生)

フェリス女学院大学音楽学部器楽学科、同大学院修了。在学中、同大学奨学会特別奨学金を受ける。「室内楽の夕べ」「卒業演奏会」「大学院オーケストラの夕べ」に出演、神奈川フィルハーモニー管弦楽団と協演する。現在同大学院研究生、音楽学部非常勤副手、フェリス音楽教室講師。田口純子、リューバ・チモフェーエワ、宗施月子、堀由紀子、今夏ザルツブルグ国際音楽アカデミーにてアイナル・スティーン＝ネックレベルクの各氏に師事。



### 渡邊ゆうび (51回生)

浜松学芸高等学校音楽科卒。フェリス女学院大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒。在学中「オーケストラ協演の夕べ」「卒業記念演奏会」出演。大場多恵子、ヴォルフガング・マンツ、黒川浩各氏に師事。現在、同大学大学院1年在学中。

『4年間の学生生活を終え、大学院でより深みのある音楽を探求している今、このような機会に演奏できる事を大変嬉しく思います。本日演奏するシベリウスのピアノ曲は、北欧フィンランドを感じさせる情感豊かな美しい音楽です。演奏する音楽に、作曲者と演奏者の伝えたいものがうまく溶け込んだ時、音楽は人々の心に何かを訴える力を持つように思います。様々な音楽を味わいながら、私なりのテンポで、これからも音楽と向かい合っていきたいと思っています。』



### 安西 梓乃 (50回生)

フェリス女学院大学音楽学部器楽学科卒。第71回読売新人演奏会、第72回横浜新人演奏会に出演。第9回ちば音楽コンクールにてF部門（一般の部）優秀賞、最優秀賞受賞。大谷真実、西川秀人、W. マンツ、宗施月子、田村安佐子の各氏に師事。現在、大学院2年在学、フェリス音楽教室講師。

『ジョイントリサイタルに出演させていただき、大変嬉しく思います。本日は、フェリスホールでの響きをよく感じた演奏を心掛けたいです。』



### TOKYO CHAMBER CHOIR

小泉 寧子 (21回生)、首藤 涼子 (32回生)、菅田 慶子 (31回生)、中村 美緒 (39回生)、大野 則子 (23回生)、木下 智子 (32回生)、和田 昭子 (21回生)、鈴木 範子 (15回生)、斉田 麗子 (23回生)、鈴木 麻実 (27回生)、須藤多恵子 (29回生)、安倍 邦子 (12回生)、佐々木恵美 (22回生)、青木 郁子、千田 良枝、安部 洋子、山田 順子、井上 泰子、浜田知代子、渡邊 照子

『1994年、40周年を迎えた日本女声合唱団（元フェリス女声合唱団）は故三宅洋一郎先生の御意志で解散致しました。その中の何人かが中心となり新メンバーと共にTOKYO CHAMBER CHOIRが発足し、岸信介先生御指導の元毎年1回のコンサートを中心に活動を始めました。2000年4月より桑原妙子先生をお迎えし、フェリス卒業生の団員も増えました。桑原先生はフェリス女学院大学講師の御経験もあり合唱界においては国際的な御活躍と実績をお持ちで、私達は気持ちも新たに研鑽を重ね3年目を迎えました。その間堀内陽子先生の流麗なピアノに助けられ中田先生の作品を演奏する機会にも恵まれました。今日はその中の中田作品そしてルネッサンス音楽も感じる沖縄の歌、現在英国で活躍中の作曲家カミレリのレクイエムとバラエティに富んだプログラムをお楽しみ頂きたいと思ひます。合唱に興味のおありの方がいらっしゃいましたら、是非お問い合わせ下さいませ。』

## 桑原 妙子 (10回生)

フェリス女学院短期大学音楽科声楽科、同専攻科卒。木下武久氏に発声を、佐々木成子氏に声楽を師事。小田原少年少女合唱隊、マルベリー・クワイア、マルベリ・チェンバークワイア他を指揮。フェリス女学院大学音楽学部講師を経て、現在朝日カルチャーセンター講師、神奈川県合唱連盟理事長。各合唱団を指揮しハンガリー・コダーイ国際コンクール、イタリア・アレツォ国際合唱コンクール民族部門第1位、宝塚国際室内合唱コンクールグランプリ、全日本合唱コンクール全国大会金賞、カワイ奨励賞他を受賞。

## 堀内 陽子 (31回生)

フェリス女学院短期大学ピアノ専攻卒 (31回)、同校専攻科及び研究科修了。学内特別演奏会にて神奈川県フィルハーモニー管弦楽団と共演。卒業後、1988年度まで母校の非常勤講座副手として主に合唱クラスの伴奏をつとめる。ピアノを手塚敏子、宇野紀子の各氏に、伴奏法を立神粧子氏に師事。現在朝日カルチャーセンター横浜女声合唱クラス伴奏者。



## 尾和 晶子 (45回生)

フェリス女学院大学音楽学部卒業。前田美由紀氏に、師事。神奈川県音楽コンクールに入選、日本教育連盟音楽コンクール、ブラームスを中心にして入賞、飯塚新人音楽コンクールにて入選、ドイツ国立ヴュルツブルグ音楽大学大学院卒業。カール・ベッツ氏をはじめカヤ・ハン女史、ミハエル・ケーラ氏、ガブリエル・ザイデル女史に師事。日本わき市音楽コンクールに入選、ドイツ・バートメリゲントハイムにてリサイタルを開催。その後、日本に帰国し幅広く活躍中。

『今回の曲目は、アルベニスというスペインの作曲者の作品を取り上げてみました。彼の作品は、複雑でメロディーのラインをたどるのが大変ですが、その中で、独特のジプシーの旋律・ホタのリズム、そしてその幻想的で官能的な雰囲気皆様の心の中までお伝えできればと思っております。』



野村 朋子

齊藤 京子

## 齊藤 京子 (34回生)

フェリス女学院短期大学音楽科卒業。ジュリアード学院に学び、1992年ヤングコンサートアーティスト国際オーディションに優勝。ケネディーセンターやニューヨークの92nd ST Yをはじめ、アメリカ国内の主要コンサートホールでリサイタルを行う。1992年ピーター・ブルックの「ペレアスの感銘」にメリザンド役で出演、ヨーロッパデビュー。近年はパリのルーブル美術館、サントリーホールなどでリサイタルを行い好評を得る。オーケストラの共演は、ブラームス「ドイツレクイエム」、マーラー「交響曲第4番」、フォーレ「レクイエム」、ベルリオーズ「夏の夜」などがあり、室内楽はマルボロフェスティバルのメンバーと全米ツアーに参加。2000年小澤征爾音楽塾「フィガロの結婚」(演奏会形式)に伯爵夫人役で出演。1996年オランダのセルトヘンボス国際声楽コンクール歌曲部門優勝。フェリス女学院大学音楽学部助教授。

『同窓生としてフェリスホールでのデビューとなる演奏会に出演できとてもうれしく思っています。今回は私が海外で歌ってきた大好きな二人の作曲家の作品を歌います。特に中田先生の「おやすみなさい」はどここの国で歌っても子守唄の優しさが、ナカダハーモニーが聴衆の人々の心に残りました。素敵な数多くの曲を残してくださった中田先生に感謝の気持ちを込めて歌います。』

## 野村 朋子 (48回生)

フェリス女学院大学音楽学器楽学科卒業。同大学大学院音楽研究科修士課程器楽専攻修了。宗施月子、W. マンツ、大橋京子、遠藤恵真子の各氏に師事。在学中よりみなとみらいホール、関内ホール等のジョイントコンサートに出演。現在、伴奏を中心に活動を行っている。フェリス女学院大学音楽学部非常勤副手。